



長崎市議会議員

いづわ清隆 だより 第18号

平成19年4月 発行責任者：馬場 尚之 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



ランタンフェスタ(中島川会場)

桜の花も満開に咲きそろい、爽やかな季節となりましたが、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

定例議会が2月27日から3月20日までの会期で開催され、本市の財政状況は市税収入で若干の増があるものの、歳出においては義務的経費（介護保険・社会保障費・生活扶助費など）が増加するなど非常に厳しい財政運営になっていきます。

連日のように報道されている、炭鉱と共に繁栄した夕張市は、閉炭後に地域の活性化のために「炭鉱から観光へ」として、次々とテーマパークを開設したが過大投資や放漫経営が要因で市の財政が破綻し昨年、昨年財政再建団体となり再建計画が提示されましたが、市民税の引き上げ・ゴミの有料化・高齢者のバス運賃の補助廃止など、市民へのシワ寄せをした内容が公表されました。

長崎市も財政再建団体にならない為にも、徹底した行政改革を行い、メリハリのある事業を行わなければなりません。

市会議員として、私も早いもので4年が過ぎました。その間、多くの皆さまのご支援を賜り市政での活動をさせて頂き改めて感謝申し上げます。

私は、市会議員として市民の代表の名に恥じないよう、市民の方と同じ目線で活動を行い、今後とも「やさしい街づくり」「元気な長崎」に向けて初心を忘れずに議員活動を邁進する所存でありますので、更なるご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

平成19年度予算など可決！

総額1996億円(一般会計予算)

長崎市議会の定例議会は2月27日から3月20日までの日程で開催され、2007年度一般会計、総額約1996億円の予算、40議案が可決されました。

主な内容

- ふれあいセンター建設事業費(新) ……3億円
 - 江平地区：建設事業
 - 建設場所 岩川町67番
 - 施設概要 鉄骨造3階建の2、3階
 - 延床面積 約670㎡
- 障害者自立支援法円滑施行特別対策事業費(新) ……4,598万9千円
 - 障害者自立支援法の着実な定着と制度施行にあたっての激変緩和を図るため、国が行う次の特別対策事業を平成20年度まで実施する。
 - ・ 事業運営円滑化事業費
 - ・ 通所サービス利用促進事業費
 - ・ 療養介護給付費負担軽減事業費
 - ・ 就労意欲促進事業費
 - ・ 障害福祉サービス給付費負担軽減事業費
- 乳幼児医療対策費 ……4億2,373万6千円
 - 乳幼児の福祉の増進と保護者の経済的負担の軽減の観点から、乳幼児福祉医療費の給付方式を、現在の償還払いから現物給付(医療費の自己負担額のみ医療機関窓口で支払)へ変更する。
- 児童クラブ施設整備事業費 ……1億円
 - 授業終了後の児童に適切な遊び場及び生活の場を与え、その健全な育成を図るため、児童クラブ施設を整備する。
 - ・ 整備小学校区
 - 山里、橋、高城台、大浦、古賀
- 認定こども園施設整備補助金(新) ……1,000万円
 - 私立幼稚園の空き教室等を活用した認可保育所を設置し、認定こども園の幼保連携型を運営する学校法人に対し、施設整備費の一部を助成する。
 - ・ 平成19年度 2ヶ所
- 若年者雇用・定着促進事業費(新) ……480万円
 - 県が設置するフレッシュワーク長崎へコーディネーターを配置し、企業と若者の双方のニーズの把握・情報提供等により、若者の地元企業への就労促進を行う。
- 中小企業サポートセンター活動費(新) ……1,085万2千円
 - 企業経営、「ものづくり」技術、産学連携など中小企業が抱える課題解決のため、各分野の専門相談員を配置した中小企業サポートセンターを設置する。

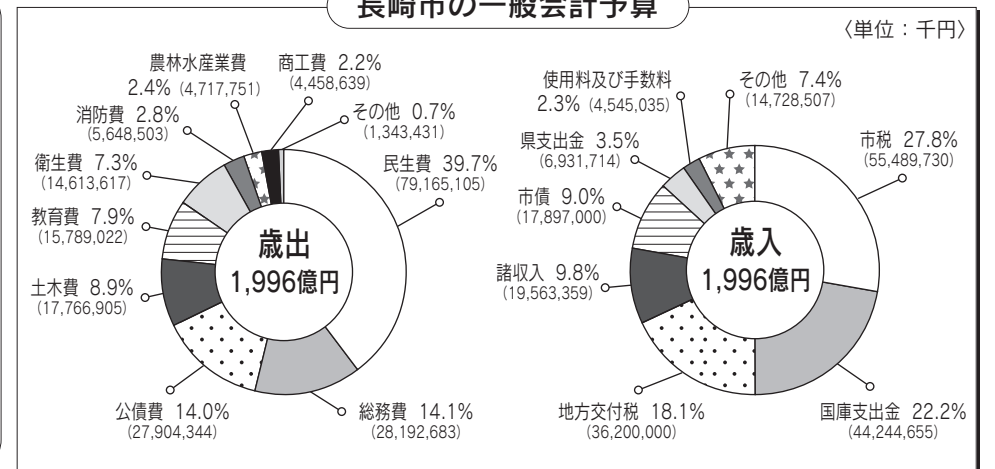
ご相談はお気軽に！

長崎市議会議員
いづわ清隆
長崎市女の都1丁目1444-13
自 宅 ☎(844)9599
生活相談室 ☎(861)1985



この用紙は再生紙を使用しています。

長崎市の一般会計予算



“いっわ清隆1期4年間の議会活動”

一般質問にて8回、44項目において議論



【4年間の質問内容】

年月	項目	年月	項目
平成15年7月1日	1. 地域の防災対策について 2. 商店街の活性化について 3. 住宅表示に伴う町界町名変更について 4. 主要地方道東長崎長与線（川平町三宝橋～長与町三根郷）の拡幅について	平成17年12月6日	1. 耐震強度偽造問題について 2. 教育行政について ①少人数学級編成に伴う諸課題 ②学校選択制度導入に伴う初年度の評価と2年目の現況 3. 市営住宅について ①市営住宅の応募状況と退去から入居までの空き期間 ②特定公共賃貸住宅の空き部屋対策 4. 地域雇用創造支援事業について
平成16年3月11日	1. 環境行政について ①ごみステーションの設置条件 ②ごみの引き出しの現況 ③独居老人等ごみ出し援助事業の現状と今後の課題 2. 市営住宅について ①公営住宅ストック総合活用計画の進捗状況 ②市が負担する空き家の修繕費 ③特定公共賃貸住宅（中堅所得者向け）の現状 ④浴槽・風呂釜の設置 ⑤建て替え団地の外観 ⑥家賃・駐車場の未収金対策	平成18年6月8日	1. 教育行政について ①児童生徒の安全対策 ②少人数学級編成 ③学校選択制2年目の現状と課題 2. 若者の未就業者対策について ①フレッシュワーク長崎・ヤングハロー長崎の現況 ②若者自立塾 3. 老人交通費助成事業について 4. 特別職の定数および副市長制導入について
平成16年9月8日	1. 福祉行政について ①老人交通費助成事業 ②長崎市シルバー人材センター会員の就業状況 ③個人情報保護と住宅基本台帳の閲覧制度について	平成17年3月7日	1. 長崎市立小・中学校選択制度について
平成17年6月13日	1. 長崎市立小・中学校選択制度について 2. 環境行政について ①環境月間の取り組み ②ごみ収集曜日の変更 ③燃やせないごみのステーション設置のあり方 3. 長崎被爆体験者支援事業（医療費給付）の見直しについて 4. 主要地方道東長崎長与線（川平町三宝橋～長与町三根郷）の拡幅について 5. 長崎さるく博期間中の地産地消を活用した「食」の取り組み	平成18年12月11日	1. 教育行政について ①小中学校のいじめ問題 ②長崎市立小中学校適正配置計画の進捗 ③小中学校の給食費未納 2. 福祉行政について ①老人交通費助成事業の支給年齢制限撤廃とICスマートカードの導入 ②高齢者への公共機関の定期券発行 3. 老朽危険空き家対策事業について 4. 職員の病休休暇および休職制度について

私は、市会議員となり初めての平成15年6月議会で、一般質問をさせて頂き、4年間の定例議会にて会派代表質問の関連質問を含め8回登壇しました。特に、初回の質問の時は緊張する中、持ち時間の1時間が終了した時はホッとしたのが正直な気持ちでありました。その後も、質問をさせて頂きましたが、議場で質問者に集中する雰囲気と緊張は何回やっても慣れませんでした。

主な質問内容

「燃やせないごみ」のステーション設置条件の見直し

「燃やせないごみ」のステーションの設置基準はごみ収集車が入る場所にしか設置できないようになっていたが自宅からステーションまで約1km運んでいく地域もあり、高齢者にとって大変であり基準の見直しを要望し平成16年4月から軽自動車が入る地域や引き出し作業をしている地域も設置できるようになりました。



市営APで浴槽が設置されていない住宅へ入居する時の設置

昭和55年以前に建設された市営住宅は浴槽が設置されていない為に入居者が設置し退去者が撤去するようになっていたが、入居者が浴槽を設置する費用が約15万円、退去者が撤去する費用に約2万円がかかり、入居期間が短い人でも撤去するようになっていたので、新品同様の物を処分するのはもったいなく入退去者の経費削減として要領の見直しの要望を行いました。その結果、平成16年6月から、入居者が設置したもののうち浴



退去者の新品同様の浴槽

槽・風呂釜・網戸・カーテンレールで修理を必要とせず、継続して使用できると判断されるものはそのまま利用出来るようになりました。



地元食材を取り入れた給食

小中学校の学校選択制

平成17年度より隣接する学校へ入学できる制度がスタートしたが学校の立地条件が悪い学校で入学者が減少し、クラブ活動の廃部や学校の活性化に支障を来している学校もあるので、早期に問題点や課題を洗い出し検討する様に要請します。

老人交通費助成事業

70歳から80歳の方々に5000円相当のバス券などを支給する事業については、高齢者の方々が外出する機会を増やす事業であるので支給年齢制限の撤廃を行うべきであると主張し、現在、市は高齢者福祉事業全体を見直し、年齢制限の見直しを検討しています。



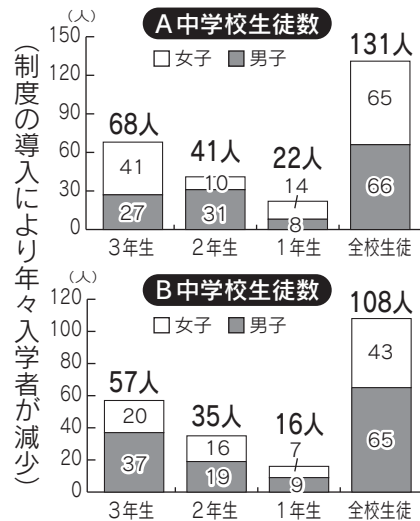
現行のタクシー・バス回数券

小中学校の給食費未納

未納者で「払えるのに払わない」保護者が増加している状況は社会的問題である

若者の未就業者対策

県内のニートは5200人と発表されていますが、国の事業である「若者自立



老朽危険空き家対策事業

市内には、斜面地に老朽化した空き家が多く、空き家に隣接する方々は台風時に空き家の瓦など飛散して被害を受けたり、シロアリ被害を受けても、個人所有の為に市としても何も救済出来ませんが、平成18年4月より土地・建物を寄附していただき、除去後の跡地を自治会等で活用して頂く新事業がスタートしましたので、事業の継続と危険空き家の周辺の方々の不安解消に取り組みたいと思います。



除去前



除去後



農作業を体験する塾生たち